

令和4年度 CS推進部推進計画

1 目的

- (1) 学校運営協議会で、学校運営の根本となる学校経営構想等の協議と承認を行い、学校経営の改善と充実をめざす。(公益性、回復力)
- (2) 学校運営協議会(兼学校安全実践委員会)・教職員・生徒・保護者との情報及び意見交流の場を設定し、地域・保護者・学校の協働体制を構築する。(多様性、協働性)
- (3) 学校と地域住民との信頼関係を深め、地域に開かれた学校作りを推進する。(人間関係形成・社会形成能力、高潔性)

2 本年度の重点

- (1) 学校運営協議会・教職員・生徒・保護者が協力して教育課題の解決に向けた取り組みを行う。
- (2) 地域行事に積極的に参加し、生徒に地域の一員であることの自覚をもたせる。
- (3) ホームページや通信等で、学校の行事や取組を紹介し、地域への情報発信を積極的に行う。

3 具体的方策

(1) 学校運営協議会

- ① 年4回の学校運営協議会を実施する。
- ② 生徒会役員やリーダー生徒との熟議を実施し、実効性のある合意形成を図る。
- ③ 年間計画

日 時	内 容
5月7日(土)	第1回 学校運営協議会(兼学校安全実践委員会) ・授業参観 ・学校経営方針の説明
9月22日(木)	竹灯籠参観
11月12日(土)	第2回 学校運営協議会(兼学校安全実践委員会) 引き渡し訓練参観 ・中間総括(アンケート実施)
1月24日(火)	第3回 学校運営協議会(兼学校安全実践委員会) ・授業参観 ・年間総括

(2) 体育会

プログラムの中にCS種目(新宮音頭)を設定する。新宮音頭を地域の方々と一緒に踊ることで、地域との交流を図る。

(3) ひがし竹灯籠

TAPの方々の協力のもとに、各学級やブロックごとに灯籠に願いを書き、中庭に作品を創り上げる。夕方には灯籠の明かりを灯し、夜の時間に保護者・地域の方々に学校を開放する。制作及び作品を見てもらうことで、地域との交流を図る。今年度は黑板アートにも挑戦する。

8月 竹切り 9月 竹搬入、準備、片付け

(4) 地域行事

- ・ 地域の行事に企画段階から参加し運営等に携わることで、地域の一員としての自覚を促すとともに、地域形成・社会形成のための力を身につける。

- ・ 8月の第1土曜日に実施される区ごとの「夏祭り」の、企画・準備・運営・片付けに参加し、地域の方々との交流を図る。
- ・ 夏休み期間中に行われる、地域ごとの「通学合宿」や「寺子屋」に参加し、小学生との交流を図る。
- ・ 11月3日の「まつりしんぐう」に参加し活動することで、地域の活性化を図る。

(5) 総合的な学習の時間の取組

- ・ 1年生で、生徒が居住しているそれぞれの公民館の見学や清掃を通して、地域防災の学習を行う。減災・縮災のパンフレットづくりや段ボールベッドづくりを通じて、地域防災の中心としての自覚をもたせる。

(6) ホームページ・オンライン配信

- ・ 保護者・地域に開かれた学校作りのために、学校の情報を公開する。
- ・ 学校行事や、参加している生徒の様子を紹介する。
- ・ 年間計画や、行事・活動の予定や案内を掲載する。
- ・ 部活動や社会体育等での様子や結果を紹介する。

(7) あいさつ運動

- ・ 月ごとの、町内一斉の安全指導（あいさつ運動）に参加し、気持ちのよいあいさつを交わすことで地域との交流を図る。
- ・ 小中連携の一環として小学校への朝の挨拶運動（ハイタッチ運動）を生徒会役員中心に行う。